

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

平成29年(2017年) 6月 26日

滋賀県知事  
三日月 大造 様

提出者  
住 所 滋賀県湖南市中央3丁目12番地  
氏 名 西村建設株式会社  
代表取締役社長 中村 好弥  
電話番号 0748-72-1121

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	西村建設株式会社
事業場の所在地	滋賀県湖南市中央3丁目12番地
計画期間	平成29年 4月 1日から平成30年 3月 31日

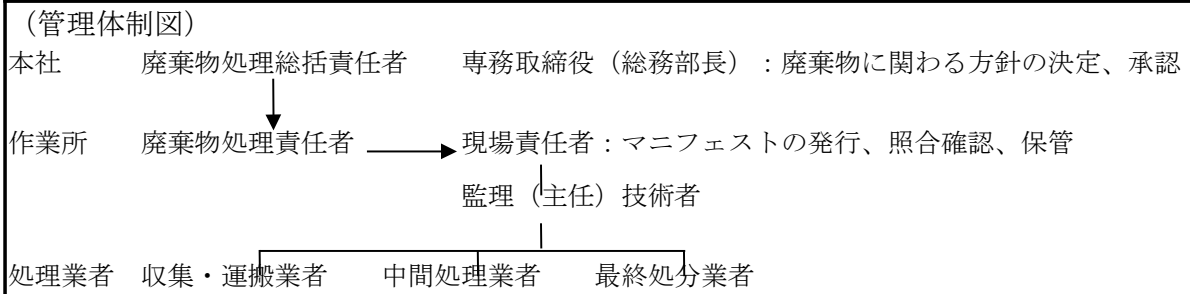
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	建設業(総合工事業)
②事業の規模	完成工事高 8,404,000千円
③従業員数	男子 73名 女子 13名 計 86名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<p>解体工事(新設工事含む) ↓ 収集運搬(収集運搬委託)(自社運搬) ↓ 中間処理業者(委託) 最終処理業者(委託) ↓ 中間再生利用業者 最終処分業者</p>

(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



廃棄物の排出の抑制に関する事項

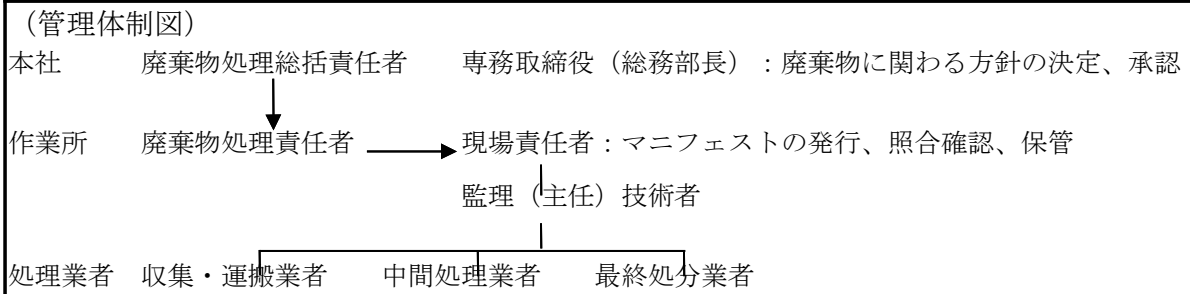
①現状	【前年度 (平成28年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
	排出量	14,983 t	341 t
	(これまでに実施した取組) 環境配慮工法、資材の検討 材料注文時の搬入数量の適正管理による余罪発生抑制 仮設材の転用使用 上記等、3Rの推進 協力業者に発注の際、発注条件書 (誓約書) の発行		
②計画	【目標】 (平成29年度)		
	産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
	排出量	15,937 t	383 t
	(今後実施する予定の取組) 上記に加え 廃棄物の発生抑制等を考慮した施工方法の採用		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 種類：がれき、ガラス・コンクリート・陶磁器くず 取組：可能な限り取り壊し時に直接積み込み、処理している。 保管する場合は、分別保管
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 種類：がれき、ガラス・コンクリート・陶磁器くず 取組：上記に加え、 廃石膏ボードの専用コンテナを使用し、回収する。

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



廃棄物の排出の抑制に関する事項

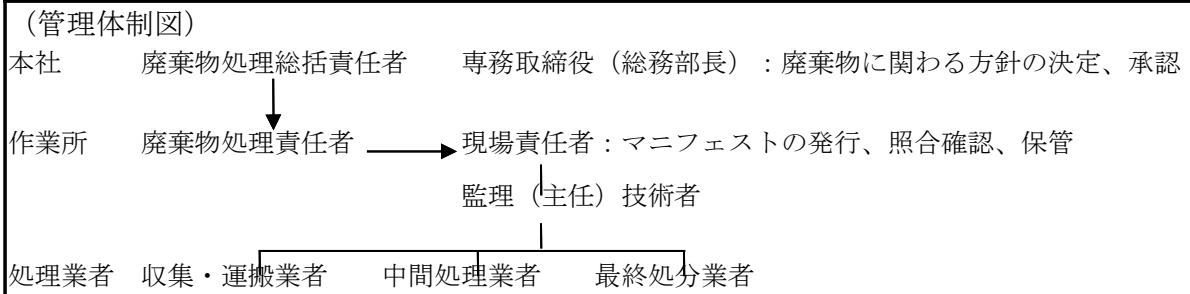
①現状	【前年度 (平成28年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず
	排出量	258 t	42 t
	(これまでに実施した取組) 環境配慮工法、資材の検討 材料注文時の搬入数量の適正管理による余罪発生抑制 仮設材の転用使用 上記等、3Rの推進 協力業者に発注の際、発注条件書 (誓約書) の発行		
②計画	【目標】 (平成29年度)		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず
	排出量	271 t	50 t
	(今後実施する予定の取組) 上記に加え 梱包の簡素化による廃棄物の発生抑制		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 種類 : 廃プラスチック類・金属くず 取組 : 分別保管 現場作業員への分別指導、教育の実施
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 種類 : 廃プラスチック類・金属くず 取組 : 上記に加え、混合廃棄物について分別を徹底する。

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



廃棄物の排出の抑制に関する事項

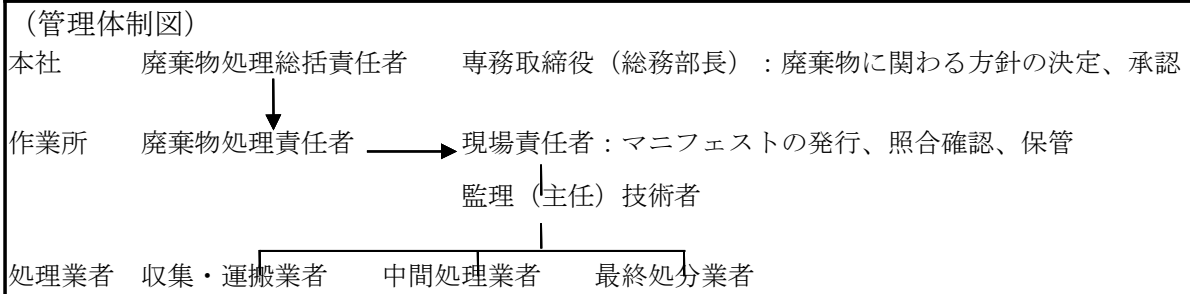
①現状	【前年度 (平成28年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	汚泥
	排出量	1, 134 t	6 t
	(これまでに実施した取組) 環境配慮工法、資材の検討 材料注文時の搬入数量の適正管理による余罪発生抑制 仮設材の転用使用 上記等、3 Rの推進 協力業者に発注の際、発注条件書 (誓約書) の発行		
②計画	【目標】 (平成29年度)		
	産業廃棄物の種類	木くず	汚泥
	排出量	1, 247 t	210 t
	(今後実施する予定の取組) 上記に加え 廃棄物の発生抑制等を考慮した施工方法を採用実施する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 取組 : 木くずは分別して保管している。(廃棄物保管場所の掲示) 汚泥は、ノッチタンクに一時保管し、ダンパー車で運搬し、処理している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 種類 : 木くず・汚泥 取組 : 上記事項を継続する。

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



廃棄物の排出の抑制に関する事項

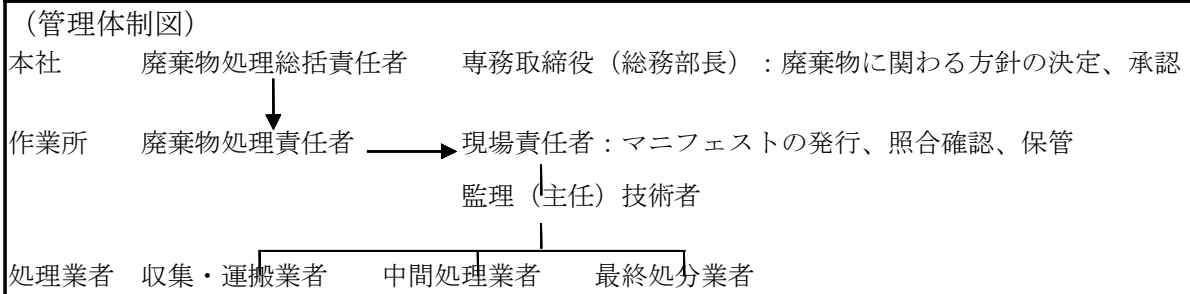
①現状	【前年度 (平成28年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	紙くず	繊維くず
	排出量	76 t	2 t
	(これまでに実施した取組) 環境配慮工法、資材の検討 材料注文時の搬入数量の適正管理による余罪発生抑制 仮設材の転用使用 上記等、3Rの推進を行う。 協力業者に発注の際、発注条件書 (誓約書) を発行し推進を図る。		
②計画	【目標】 (平成28年度)		
	産業廃棄物の種類	紙くず	繊維くず
	排出量	84 t	2 t
	(今後実施する予定の取組) 上記に加え 資材等の無梱包化、再利用可能な梱包材の使用		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 種類：紙くず・繊維くず 取組：分別して保管している。 現場作業員への分別指導、教育の実施
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 種類：紙くず・繊維くず 取組：上記に加え、混合物について分別を徹底する。

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(平成28年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物	廃油
	排出量	30 t	2 t
	(これまでに実施した取組) 環境配慮工法、資材の検討 材料注文時の搬入数量の適正管理による余罪発生抑制 仮設材の転用使用 上記等、3Rの推進を行う。 協力業者に発注の際、発注条件書(誓約書)を発行し推進を図る。		
②計画	【目標】(平成29年度)		
	産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物	廃油
	排出量	29 t	3 t
	(今後実施する予定の取組) 上記に加え 資材等の無梱包化、再利用可能な梱包材の使用		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 種類：混合廃棄物 取組：現場作業員への分別指導、教育の実施
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 種類：混合廃棄物 取組：混合廃棄物の分別精度の向上

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（平成 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)  該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)  該当なし		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（平成 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	— t
(これまでに実施した取組)  該当なし			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	— t
(今後実施する予定の取組)  該当なし			

## (第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（平成 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) 該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 該当なし		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（平成28年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
	全処理委託量	14,983 t	341 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	14,983 t	339 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
(これまでに実施した取組) 可能な限り再生施設（再資源化施設）への処理委託 電子 manifests の導入を推進している。			



## (第4面)

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（平成 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) 該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 該当なし		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（平成28年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず
	全処理委託量	258 t	42 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	258 t	42 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
(これまでに実施した取組) 可能な限り再生施設（再資源化施設）への処理委託 可能な限り金属くずは、有償物として処理 電子マニフェストの導入を推進している。			

## (第4面)

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（平成 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) 該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 該当なし		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（平成28年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	汚泥
	全処理委託量	1,134 t	6 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	1,012 t	6 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 可能な限り再生施設（再資源化施設）への処理委託 電子 manifests の導入を推進している。		

## (第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（平成 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) 該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 該当なし		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（平成28年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	紙くず	繊維くず
	全処理委託量	76 t	2 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	62 t	2 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
(これまでに実施した取組) 可能な限り再生施設（再資源化施設）への処理委託電子 manifests の導入を推進している。			

## (第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（平成 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) 該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 該当なし		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（平成28年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物	廃油
	全処理委託量	30 t	2 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	30 t	2 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
(これまでに実施した取組) 可能な限り混合廃棄物は分別し、再生施設（再資源化施設）へ処理委託電子 manifests の導入を推進している。			

②計画	【目標】（平成29年度）		
	産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
	全処理委託量	15,937 t	383 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への 処理委託量	15,937 t	381 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
委託処理業者には、定期的に実地確認を実施する。 電子マニフェスト導入業者に委託する。			
※事務処理欄			

②計画	【目標】（平成29年度）		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず
	全処理委託量	271 t	50 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への 処理委託量	271 t	50 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
委託処理業者には、定期的に実地確認を実施する。 電子マニフェスト導入業者に委託する。			
※事務処理欄			

②計画	【目標】（平成29年度）		
	産業廃棄物の種類	木くず	汚泥
	全処理委託量	1,247 t	210 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への 処理委託量	1,147 t	210 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
委託処理業者には、定期的に実地確認を実施する。 電子マニフェスト導入業者に委託する。			
※事務処理欄			

②計画	【目標】（平成29年度）		
	産業廃棄物の種類	紙くず	繊維くず
	全処理委託量	84 t	2 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への 処理委託量	72 t	2 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
委託処理業者には、定期的に実地確認を実施する。 電子マニフェスト導入業者に委託する。			
※事務処理欄			



②計画	【目標】（平成27年度）		
	産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物	廃油
	全処理委託量	29 t	3 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への 処理委託量	29 t	3 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
委託処理業者には、定期的に実地確認を実施する。 電子マニフェスト導入業者に委託する。			
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。